

やる気を出すアプローチ

子どもたちは、ちよくちよく失敗をします。

「どうして、いつも時間に間に合わないの？」

「だって、忙しいんだもん」

「なんで、そんなに忙しいの？」

「やる事がいっぱいあるの！」

「そんなの最初からわかっていることでしょう！ どうして、前もって準備しておかないの？」

なんて会話が家庭の中ではよくあります。さてこの会話を続けていったら、子どものやる気は引き出せるでしょうか？

このような会話を続けていってもやる気を起こさせることは無理なようです。逆にやる気を失うことが多いのが現実ではないのでしょうか。では、どのようにすればいいのでしょうか。

「どうしたら、出かける前に準備ができるかな？」

「うーん、もうちょっと早く起きたら」

「なるほど！ もうちょっとって、どれぐらい？」

「30分ぐらいかな」

「そう。たとえば明日、どうしたら30分早く起きられるかな？」

「早く寝る！」

「そうだね、何時に寝る？」

「10時までには」

「うん、できそう？」

「やってみる！」

この違いは、どこにあるのでしょうか。原因究明ばかりしていても、実は解決への見通しが立てられません。どうしたら解決できるのかに焦点を当てて、これからどうすればいいかを考えさせることでやる気に結びつきます。過去のことは変えることができません。であるならば、未来のことを変えましょう。これからのことは「できる」可能性があるのです。このように簡単にはいかないかもしれませんが、発想を少し変えるだけで変化があるかもしれません。少しチャレンジしてみてください。

